参考様式第５－１号

浜　産　農　利　第　224　号
令　和　6　年　12　月　10　日

農業経営基盤強化促進法第１８条第１項の規定に基づき、公表します。

浜松市長　　中　野　祐　介

市町村名 （市町村コード）	浜松市 （22130）	
地域名 （地域内農業集落名）	雄踏地区 （別紙のとおり）	
協議の結果を取りまとめた年月日		令和5年12月1日 （第2回）

注１：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注２：「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

１　地域における農業の将来の在り方

（１）　地域農業の現状及び課題

・耕地は低地水田エリアと低地畑地エリア、台地畑地エリアに分かれる。
・水田エリアは一団の優良水田で農地の集積・集約化が進んでいる。権利的集約は進んでいるが、畦畔や点在する荒廃農地により物理的な集約ができていない。
・低地畑地は集落混在地で、主に露地畑作(玉ねぎ等)で利用されている。開発圧も強いため、まとまった農地の確保は難しい。
・台地畑地は主にハウス畑作で利用されているが、リタイア地が増えてきている。露地畑作の担い手による利用意向はあるが、ハウス跡地の残置ハウスが利用の妨げとなっている。

【地域の基礎データ(R5.1担い手アンケート)】
・担い手農業者35名(69歳以下又は70歳以上後継者あり32名、70歳以上後継者なし3名）
・主な営農類型:水稲作5名、露地畑作12名、ハウス畑作16名、露地果樹0名、ハウス果樹1名、茶0名、花木0名、畜産1名、その他0名

（２）　地域における農業の将来の在り方

・農協や大規模担い手により形成された作物産地の維持・発展を図る。(水稲、施設野菜、タマネギ、ブロッコリー、キャベツレタス等)
・担い手間調整を進め、作物ごとの団地化により、作物混在を解消し、各々の耕作作業の効率化と農薬ドリフトなどの混在問題の解決を図る。まとまったほ場の確保により、将来的なドローン利用や作業の自動化などスマート農業の導入の可能性を高める。
・担い手耕作地の集約化に支障となっている荒廃農地の再生利用を図る。
・リタイア時の耕作地やハウス等の農業施設の引継ぎ方法の確立、地域への周知浸透を図る。
・一団の水田地では、基盤整備事業等により、畦畔撤去や区画の均平化(レベル出し)等でほ場の大区画化を進め、より効率的な耕作作業ができるようにする。

2　農業上の利用が行われる農用地等の区域

（1）　地域の概要

区域内の農用地等面積		253.2　ha
	うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	253.2　ha
	（うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積）【任意記載事項】	ha

（2）農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方（範囲は、別添地図のとおり）

・農振農用地区域内の農地(青地農地)とする。ただし流動性の低い営農型太陽光発電下部農地は除く。 ・当初設定においては第91回農用地区域の変更(令和7年2月)に係る農地は除く。(このため上記(1)の面積は今後の変更あり。第91回農用地区域の変更分の確定後に面積確定する。)

注：区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

３　農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

（１）農用地の集積、集約化の方針
・農業委員会(農業委員・推進委員)の農地利用最適化活動や農協、土地改良区による農地集積事業(定期的な貸出農地募集→利用調整の事業)により、担い手を中心に農地中間管理事業を活用した農地の利用集積を進める。集団農地では耕作地の集団化(集約化)のための耕作地交換を進める。
（２）農地中間管理機構の活用方針
・　農地中間管理事業の農地利用の交換・集約機能を活用するため、まずは農地中間管理機構への貸付の拡大を図る。その後、農地中間管理事業の農地利用の交換・集約機能を活用し、担い手リタイア時の耕作地の適切な継承や、担い手個々の耕作地の段階的な集約化(集団化)を図る。
（３）基盤整備事業への取組方針
・担い手のニーズや地域の課題等を踏まえ、必要な基盤整備事業を進める。
（４）多様な経営体の確保・育成の取組方針
・現存の担い手による農地利用を優先しつつ、必要に応じて地域外から多様な経営体を募り、担い手として育成していく。
（５）農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
・地域の作業をまとめて実施することにより効率化が期待できる農作業については、担い手への作業委託を進める。

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください）

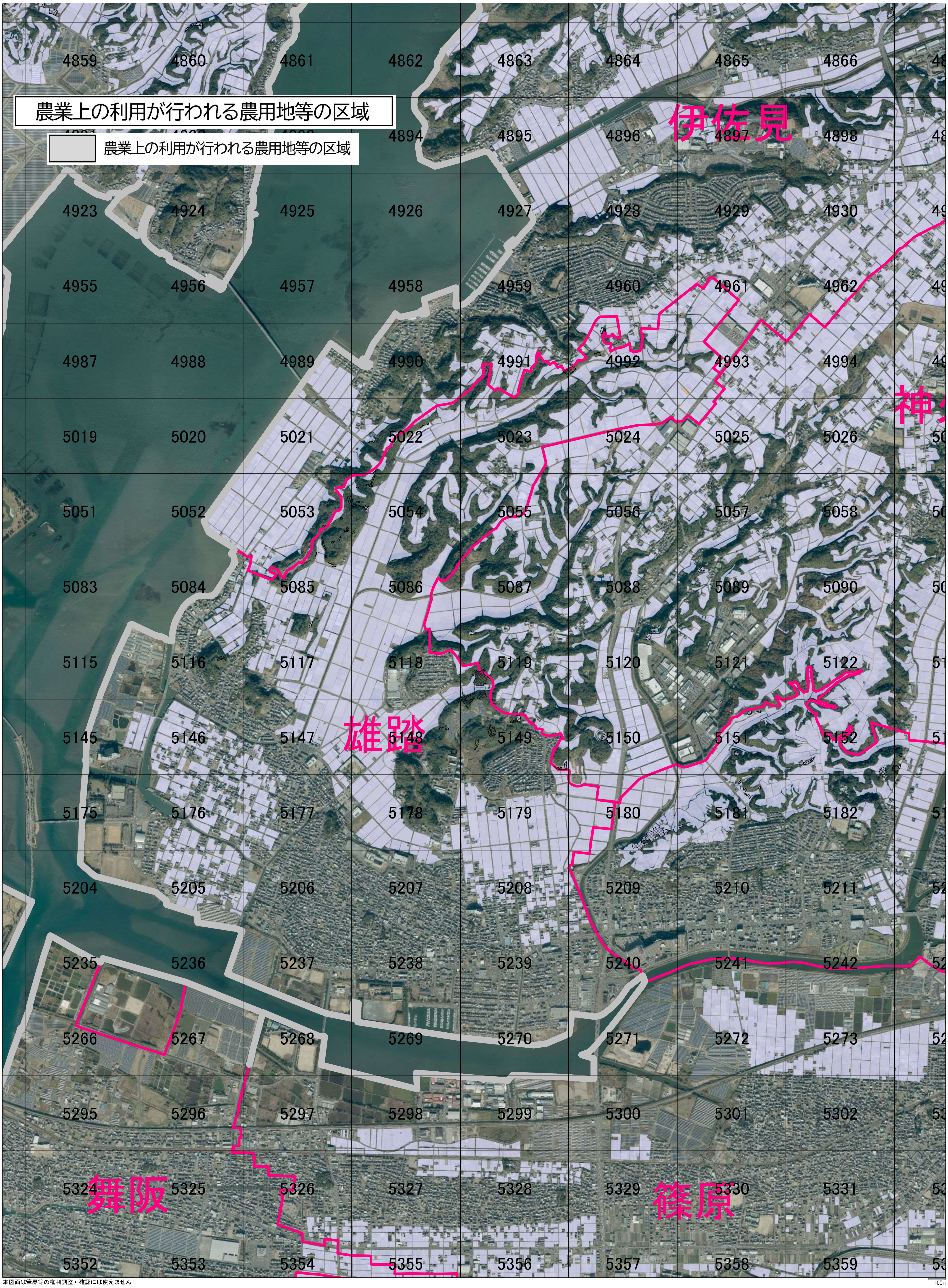
☐	①鳥獣被害防止対策	☐	②有機・減農薬・減肥料	☑	③スマート農業	☐	④畑地化・輸出等	☐	⑤果樹等
☐	⑥燃料・資源作物等	☑	⑦保全・管理等	☐	⑧農業用施設	☐	⑨耕畜連携等	☐	⑩その他

【選択した上記の取組方針】

③ドローン散布等、新しい技術による農作業の研究
⑦地域環境保全活動(多面的機能支払)…雄踏地区環境保全会

（別紙）

地域計画の地区	地区	農業集落名
雄踏	雄踏	雄踏町・田端
雄踏	雄踏	雄踏町・小山
雄踏	雄踏	雄踏町・浅羽
雄踏	雄踏	雄踏町・西ケ崎
雄踏	雄踏	雄踏町・山崎



本図面は筆界等の権利調整・確認には使えません

【出力者】08719

浜松市農地WebGISシステム

1:10000

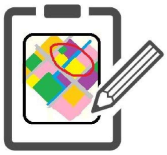
地域計画の地域の話合いの進め方

○参加メンバー

農業を行う側	農業のサポート側
・浜松市認定農業者協議会の役員	・農業委員、推進委員
・地区内の農業者	・土地改良区、水利組合の役員
・農協の産地作物部会の役員	・中間管理機構(県公社)の職員
・農協職員(地区営農支援担当)	・県、市の職員

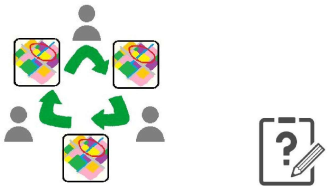
○話合いの進め方

①地図へ記入（５分間）



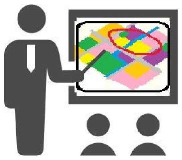
「農業が継続できそうなエリア」を線で囲み「そのエリアの現状または将来的な栽培作物」と「よりよくするために何が必要か」を記入する。

②地図を回覧（１０分間）



地図を回覧して、ほかの人の考えを共有する。
気づいたことや思ったことをメモする。

③地図について話す（各自２分間）



自分の書いた内容や、ほかの人の地図を見て気づいたことや思ったことを一人づつお話しする。

④意見交換（終了時間まで）

全員のお話を聞いて気づいたことや思ったことなどをお話しする。

○話合いのルール

○全員が発言ができる	×一部の人や声の大きい人しか発言しない
○他の人の話を聞き自分の考えを深める	×自分の意見を主張だけする、人の話を聞かない
○相手の発言を聞き入れて、受け止める	×発言を否定する
○地域全体の課題を見つける	×特定の個人や団体を批判する
○農業者自らがつくりあげる	×事務局に説明や弁明を求める

令和6年3月22日時点

地区	出された意見（個人が特定される意見は除いてあります。）	意見掲載日
雄踏	世代を担う後継者の必要性を切に考えているが、畑に出てみると年配者が多いのが現実である	
雄踏	畑の所有者である各家庭で将来の我が家について常に話し合いをしなくてはと思っているがなかなかできない	
雄踏	何とかしなくてはと考えている	
雄踏	高齢化により放棄地が増えている	
雄踏	放棄地が20年続くと宅地化してしまう	
雄踏	せっかくいい土地なのに、農転されてしまっている、特に雄踏	
雄踏	切り売りされて周りもやりにくい	
雄踏	畑の集積と分配を希望	
雄踏	宅地が近いとクレームも出やすい	
雄踏	農家以外にも農業を理解して欲しい、そうすればもっと放棄地減に貢献できる	
雄踏	雄踏から古人見に行くエリアで10年前より畑が減った	
雄踏	昔は一面セロリだったのに今は3～4枚	
雄踏	自分の田んぼがどこにあるかも分からない人もいる　先ずは把握してもらうところから	
雄踏	施設花きも盛んだが、後継者のいないハウスもある	
雄踏	余った水を水路に捨てていたが、下流に流すように変えていっている	
雄踏	雄踏地区の水も今後、潤っていくのではないか	
雄踏	皆の認識が統一されている	
雄踏	もう少し話し合えば、地区の方向性が見えてくるのではないか	
雄踏	せっかく集積出来ているのに、使い勝手の悪いところもある　残念	
雄踏	地図だと荒廃地はないように見えるが、西ヶ崎と浅羽地区は民家が点在し荒廃地が多い	
雄踏	防除しにくい	
雄踏	水没の期間が増えた　3日水没すると水田がダメになる　改善して欲しい	
雄踏	伊佐見から来ているが、他地域と連携して放棄地を増やさない対策をとっていきたい	
雄踏	台風が来ると古人見を見に行く　リスクを考えて植えなくなったのかも	
雄踏	四角で畑管もあるが、排水が悪いのでリスクとみられている　今年植え付けがない	
雄踏	山崎の畑は担い手の集積がすすんでいる　宇布見が問題	
雄踏	相続のことが分からなくて、利用権の仕組みを知らなくて、という話をよく聞く	
雄踏	南区で借りている所も家を建てるということで、かなり返している	
雄踏	雄踏の借りている所は魅力的　さらに借りて増やしていきたい	
雄踏	作業しやすい所は取り合いで、どの地区も共通の課題	
雄踏	新規就農は来るが農業をなめている人が多い	
雄踏	畑はあるから興味あると来るが、実際やってみると上手くいかない	
雄踏	新規就農者に儲かる魅力をつけないと、ちゃんとした人は来ないと思う（国の施策が必要）	
雄踏	篠原の玉ねぎのように新規の人がいっぱい来る魅力が必要	
雄踏	利用権があることが部農会に入っている人にしか情報が回らない	
雄踏	市の広報とかでもっとアピールして欲しい	
雄踏	昔からの人は優しい、理解もある　弊社の外国人研修生にもお土産をくれたりする	
雄踏	新しく建てた家の人たちは理解が薄い	
雄踏	作業前に連絡が必要になったりして手間（喘息の人がいて窓を開けないようにするから知りたい等）	
雄踏	住宅も少ないし理解頂いていて、やりやすい地区と感じる	

令和6年3月22日時点

地区	出された意見（個人が特定される意見は除いてあります。）	意見掲載日
雄踏	「トラクターがうちの駐車場の前に泥を落とした」とかクレームがくる	
雄踏	泥を落ちないようにするだけで時間がかかる	
雄踏	畑かんあるだけで幸せ	
雄踏	野菜を作っても儲からない　やっても割に合わないからやめてしまう	
雄踏	農家も安定した生活が送れるよう国が施策を作るべき	
雄踏	周辺の地区で土地改良、農地集積が進められている	
雄踏	雄踏の入作担い手が、周辺の地区でまとまって借りられるようになったことで、雄踏の水田からの撤退が懸念される	
雄踏	大久保北（環状線東側）の水田にも農地集積事業を拡大してほしい	
雄踏	①比較的住宅地と離れており、担い手の面積多い	
雄踏	②畑と水田のすみわけ、担い手の面積多い	
雄踏	③ハウスの担い手多い	
雄踏	④集積集約が必要だが担い手が増	
雄踏	米　貸借地交換のよる集約、畑管の整備	
雄踏	田　集積が進んでおり継続できそう	
雄踏	畑　現耕作者と地主さんへ利用権の案内をして引継ぎを	
雄踏	数年後は高齢化により荒地増	
雄踏	稲作…耕作放棄を防ぐ　畑作…担い手、耕作放棄の解消、	
雄踏	県営事業等により、水利施設の整備が進められているため	
雄踏	耕作放棄地	
雄踏	集積、分配	
雄踏	水没が増えている、水はけを良くしたい	
雄踏	担い手、後継者不足	
雄踏	水田の集約　中間管理契約へ　施設、露地野菜　耕作放棄地の解消	
雄踏	畑管整備の必要性	
雄踏	実際は耕作放棄地がある？（保全のみ）	
雄踏	黄色…担い手不足（古人見→宇布見）	
雄踏	水没・水はけ	
雄踏	貸すと賃料もらえる　相続人の知識不足	
雄踏	水田がかたまってある所が多いので、貸借、分配して（水田集約）	
雄踏	古くなった畑管等の整備（修理）を行う	
雄踏	古人見…田は貸地交換をすすめる、継続可	
雄踏	雄踏の畑…耕作放棄、担い手不足（高齢化）	
雄踏	雄踏の田…水整備が進んでいる　利用権の案内や相続時の農地の取り扱いを伝える	
雄踏	水田の集約は出来るが、畑の集約は難しい、消毒等（民家散在エリア）	
雄踏	集積出来ている所が多い　残すところは共通している	
雄踏	宇布見…耕作放棄、地主への案内必要	
雄踏	水田の水没が増えている	
雄踏	水田が比較的集約している、ほぼ100%	
雄踏	ハウス栽培は担い手がいるが、露地は担い手が不足	
雄踏	排水整備を進めて欲しいとの意見が多かった	

令和6年3月22日時点

地区	出された意見（個人が特定される意見は除いてあります。）	意見掲載日
雄踏	畑の集約　耕作放棄地　高齢化	
雄踏	担い手不足	
雄踏	雄踏…耕作放棄地の解消、集約	
雄踏	高齢化による荒地増	
雄踏	水田の水没、水はけを良くする	
雄踏	畑の集積、分配	

本図面は筆界等の権利調整・確認には使えません

浜松市農地WebGISシステム

【出力者】08719

1:10000

R5. 3時点

地域の話合い　参加者意見(将来的に農業継続できそうなエリア)の重ね図